



鳥居薬品株式会社

第127期 中間報告書

2018年1月1日 ▶ 2018年6月30日

CONTENTS

株主の皆様へ…1

領域別及び製商品別の概況…3

研究開発の状況…5

トピックス…7

財務諸表の概要…8

株式の状況…9

会社の概要…10

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、本年7月に発生した「平成30年7月豪雨」により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

第127期(2018年12月期)第2四半期累計期間の経営成績につきましてご報告いたします。ご高覧頂きますようお願いいたします。

当社は今後とも「世界に通用する医薬品を通じて、お客様、株主、社会、社員に対する責任を果たすとともに、人々の健康に貢献する」という企業ミッションの下、持続的な事業成長と中長期的な企業価値の向上の実現に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

2018年9月

代表取締役社長 **高木正一郎**

経営成績について

売上高は、2018年4月に実施された薬価改定の影響を受けたものの、主力製品の価値最大化及び更なる市場浸透・拡大に取り組んだ結果、販売数量が伸長し305億円と前年同期に比べ4億円(1.5%)増加しました。

各重点領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

●腎・透析領域におきましては、「レミッチ(透析患者における

経口そう痒症改善剤)」は販売数量が伸長したことにより66億円と前年同期に比べ1億円(1.8%)、「リオナ錠(高リン血症治療剤)」は市場浸透・拡大に注力したことにより30億円と前年同期に比べ2億円(8.9%)それぞれ増加しました。

●皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が27億円と前年同期に比べ3億円(11.3%)減少しました。

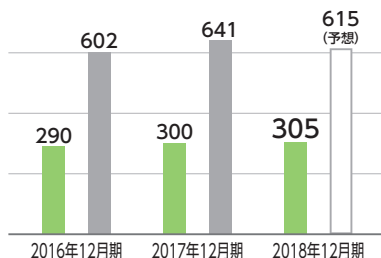
●アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法の普及に注力したことにより「シグトレン スギ花粉舌下液(アレルギー免

決算ハイライト ■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:億円)

売上高

第2四半期(累計)実績

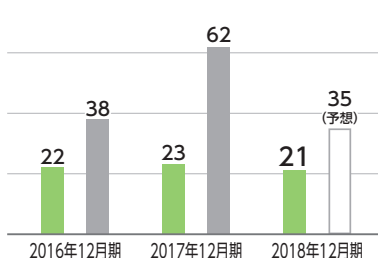
305億円 前年同期比 1.5%増



営業利益

第2四半期(累計)実績

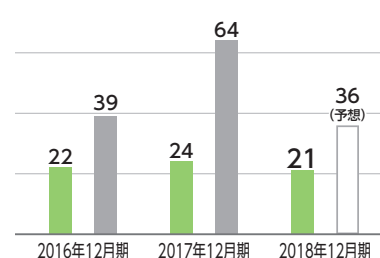
21億円 前年同期比 11.0%減



経常利益

第2四半期(累計)実績

21億円 前年同期比 10.4%減



疫療法薬)は7億円と前年同期に比べ2億円(40.7%)増加しました。なお、2017年9月に日本国内における製造販売承認を取得しておりました「シダキュア スギ花粉舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」につきましては、2018年4月に薬価基準に収載され6月に販売を開始しました。

●HIV感染症領域におきましては、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が7億円と前年同期に比べ20億円(73.3%)減少しましたが、2017年1月に販売を開始した後継品の「デシコピ配合錠(抗HIV薬)」は57億円と前年同期に比べ21億円(62.1%)増加しました。また、「ゲンボイヤ配合錠(抗HIV薬)」は34億円と前年同期に比べ6億円(22.3%)増加しました。

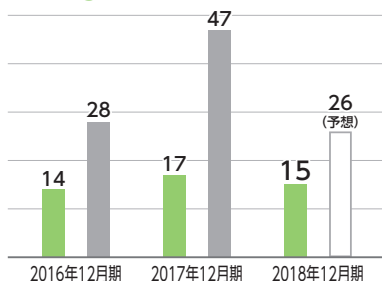
費用面におきましては、売上原価は販売数量が伸長したほか、「シダトレン スギ花粉舌下液」「シダキュア スギ花粉舌下錠」の主原料であるスギ花粉在庫について、一過性の廃棄損失を計上したこと等により158億円と前年同期に比べ10億円(7.2%)増加しました。一方、販売費及び一般管理費は研究開発費や管理費が減少したこと等により126億円と前年同期に比べ3億円(2.6%)減少しました。

以上の結果、営業利益は21億円と前年同期に比べ2億円(11.0%)、経常利益は21億円と前年同期に比べ2億円(10.4%)、四半期純利益は15億円と前年同期に比べ2億円(12.0%)それぞれ減少しました。

四半期(当期)純利益

第2四半期(累計)実績

15億円 前年同期比 12.0%減



通期の業績予想について

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、第126期報告書でご報告した予想数値を以下のとおり修正しております。

	前回予想	修正予想	対前回予想(増減率)
売上高	607億円	615億円	+8億円 (1.3%)
営業利益	35億円	35億円	—
経常利益	36億円	36億円	—
当期純利益	26億円	26億円	—

売上高につきましては、「レミッチ」をはじめとする主力製品の販売状況が計画を上回って推移していること等により、前回予想を上回る見通しとなりました。

一方、利益面につきましては、スギ花粉在庫の一過性の廃棄損失を計上したものの、売上高の増加、販売費の減少等により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想からの変更はありません。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円(中間配当金24円、期末配当金24円)を予定しており、前回予想からの変更はありません。

配当について

配当方針

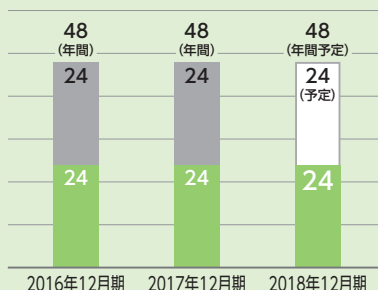
当社は、株主の皆様への適正な利潤の還元を経営の重要課題の一つと認識し、剰余金の配当につきましては、継続的かつ安定的に実施することを基本方針としております。

上記基本方針の下、経営体質の強化や将来の事業展開等を目的とした中長期的な視野に立った投資等に備えることも勘案したうえで、株主の皆様へ安定的還元を行ってまいります。

●中間配当支払開始日 9月4日

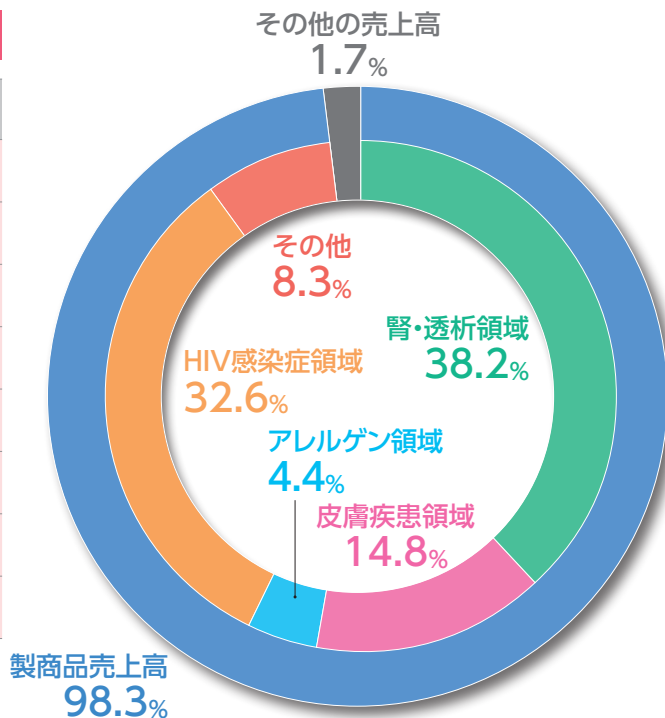
1株当たり配当金

■ 中間配当 ■ 期末配当 (単位:円)



領域別及び製商品別の概況

領域別売上高		(単位：百万円)
	2017年12月期 第2四半期(累計)	2018年12月期 第2四半期(累計)
売上高	30,090	30,551
製商品売上高	29,603	30,033
腎・透析領域	11,874	11,665
皮膚疾患領域	4,796	4,519
アレルギー領域	907	1,348
HIV感染症領域	9,277	9,961
その他	2,748	2,538
その他の売上高	486	518



主要製品・商品のご紹介

レミッチ

経口そう痒症改善剤



従来の止痒薬では効果が不十分であった透析患者さんの痒みや、慢性肝疾患患者さんの痒みを改善する薬剤です。

リオナ錠

高リン血症治療剤



体内へのリンの吸収を抑制することにより、慢性腎臓病患者(血液・腹膜透析患者、保存期腎不全患者)さんの高リン血症を改善する薬剤です。

アンテベート

外用副腎皮質ホルモン剤



アトピー性皮膚炎や接触皮膚炎等の皮膚疾患に対して炎症を抑えることによって症状を改善する薬剤です。

製商品別売上高

(単位：百万円)

品名		2017年12月期 第2四半期(累計)	2018年12月期 第2四半期(累計)
レミッチ	経口そう痒症改善剤 腎・透析領域	6,567	6,687
デシコビ配合錠	抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) HIV感染症領域	3,522	5,710
ゲンボイヤ配合錠	抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) HIV感染症領域	2,794	3,417
リオナ錠	高リン血症治療剤 腎・透析領域	2,840	3,092
アンテベート*	外用副腎皮質ホルモン剤 皮膚疾患領域	3,104	2,753
ビオスリー	活性生菌製剤(整腸剤) その他	1,189	1,252
ケイキサレート*	高カリウム血症改善剤 腎・透析領域	1,010	946
ロコイド*	外用副腎皮質ホルモン剤 皮膚疾患領域	713	780
シダトレン スギ花粉舌下液*	スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 アレルゲン領域	554	780
ツルバダ配合錠	抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) HIV感染症領域	2,796	745
ゼフナート	抗真菌薬 皮膚疾患領域	602	680
注射用フサン*	蛋白分解酵素阻害剤 腎・透析領域	952	589
マグセント	切迫早産における子宮収縮抑制剤/子癇の発症抑制・治療剤 その他	499	441
ユリノーム錠*	尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) 腎・透析領域	504	350
その他製商品		1,951	1,804

*自社品

シダトレン スギ花粉舌下液

スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬



スギ花粉症に対する国内初の舌下投与によるアレルゲン免疫療法薬です。「アレルゲン」を少量から投与することで、体をアレルゲンに慣らし、アレルギー症状を和らげる治療に用いる薬剤です。

デシコビ配合錠

抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬)



ヒト免疫不全ウイルス(HIV)逆転写酵素を阻害し、ウイルスの増殖を阻害する薬剤です。

ゲンボイヤ配合錠

抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬)



ヒト免疫不全ウイルス(HIV)逆転写酵素及びインテグラーゼを阻害し、ウイルスの増殖を阻害する薬剤で、1日1回1錠の服薬で治療を行う抗HIV薬です。

研究開発の状況

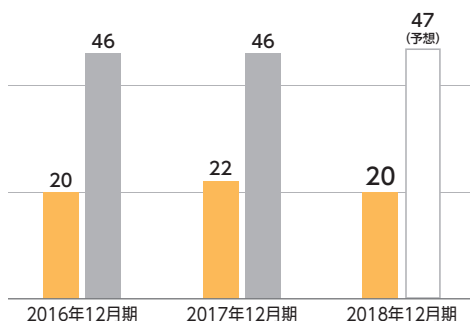
導入活動・研究(共同)開発活動の主な進捗及び成果につきましては、以下のとおりです。

●高リン血症治療剤「リオナ錠」(開発番号:JTT-751)につきまして、日本たばこ産業株式会社(以下、「JT」)と共同で、鉄欠乏性貧血を新適応症とする国内第Ⅲ相臨床試験を開始しております。

●JT及び当社は、ニューロキニン1(NK-1)受容体アンタゴニスト(国際一般名:serlopitant)(開発番号:JTS-661)の開発中止を決定し、2016年8月にMenlo Therapeutics社と締結した本剤の日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を、2018年6月に解約しました。

研究開発費の推移

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:億円)



主な研究開発品 (2018年7月30日現在)

開発番号 [製品名]	予定適応症等
腎・透析領域	
JTT-751 [リオナ錠]	鉄欠乏性貧血
JTZ-951	腎性貧血

皮膚疾患領域

JTE-052	アトピー性皮膚炎
	小児アトピー性皮膚炎

アレルギー領域

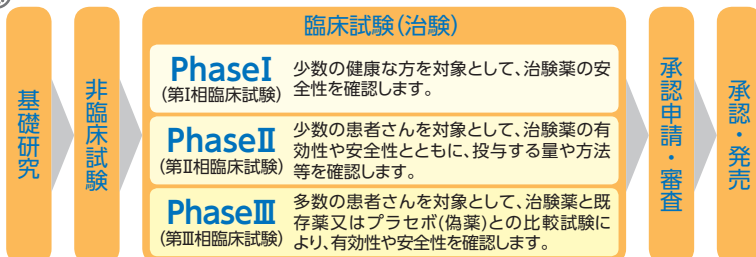
TO-203 [ミティキュア ダニ舌下錠]	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)
------------------------------------	--

(参考)

2017年10月にJTが、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者者にライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売につ



新薬ができるまで



新薬の候補物質が新薬として認められる確率は約3万分の1と言われており、専門家による厳格な審査を経て、国からの承認を受けてようやく医薬品として世に送り出すことができます。

剤形等	開発段階(国内)					備考
	PhaseI	PhaseII	PhaseIII	申請	承認	
経口剤			PhaseIII			<ul style="list-style-type: none"> ● Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ● JTとの共同開発(適応追加) ● JTが2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
経口剤			PhaseIII			<ul style="list-style-type: none"> ● JT創製化合物 ● JTと日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
外用剤			PhaseIII			<ul style="list-style-type: none"> ● JT創製化合物 ● JTと日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
外用剤		PhaseII				<ul style="list-style-type: none"> ● JT創製化合物 ● JTと日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
舌下錠			PhaseII/III終了*			<ul style="list-style-type: none"> ● ALK-Abelló A/Sと日本国内における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ● 自社開発 <p>※今後の開発方針について検討中</p>

おける二次性副甲状腺機能亢進症(SHPT)治療薬であるcalcifediol徐放製剤(米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売)について、日本国内における独占的開発・商業化権に関するいは、当社が行う予定である旨、公表しております。

スギ花粉症に対するアレルギー免疫療法薬「シダキュア®スギ花粉舌下錠」新発売

2017年9月に製造販売承認を取得し、2018年4月に薬価基準に収載されました。スギ花粉症に対するアレルギー免疫療法薬「シダキュア®スギ花粉舌下錠」について、2018年6月より販売を開始しました。

「シダキュア®スギ花粉舌下錠」は、スギ花粉症に対する舌下投与のアレルギー免疫療法薬であり、日本国内で初めて成人及び小児等において使用可能となった速溶性の舌下錠です。既に販売している「シダトレン®スギ花粉舌下液」よりも高力価の製剤であり、より幅広い適用年齢を有し、室温保存で、服薬のしやすさや利便性等を高めたことが特徴です。

当社は、「シダキュア®スギ花粉舌下錠」がスギ花粉症治療の新たな選択肢として定着し、患者さんの治療に貢献できることを期待しております。



通年性アレルギー性鼻炎・花粉症 全国意識・実態調査

当社は、全国の通年性アレルギー性鼻炎、花粉症のいずれかの症状を自己申告いただいた本人(15~64歳)4,692名(各都道府県100名、山梨県のみ92名)と、子ども(5歳~15歳)が両疾患のいずれかを持っていると自己申告いただいた保護者1,600名(全国を8地域に分け、各地方200名)を対象に、ご本人とご家族のアレルギー性鼻炎の理解と対処の現状についてのインターネット調査を実施しました。通年性アレルギー性鼻炎と花粉症は、様々な対策グッズや治療薬が普及しておりますが、依然多くの患者さんが症状に悩ま

られています。調査結果でも、「10年以上」症状に悩まされている患者(15~64歳)が5割以上、小児患者(5~15歳)でも、保護者の約5割が「3年以上」と回答している一方、医療機関への定期受診率は2割未満であること等から、症状の原因となる抗原の認知、治療法の理解に対する課題が明らかとなりました。(調査期間:2018年3月1日~3月9日)

調査結果の詳細は、当社ウェブサイトに掲載しておりますので、ご覧ください。

https://www.torii.co.jp/release/2018/20180510_1.pdf

(通年性アレルギー性鼻炎・花粉症 全国意識・実態調査)

https://www.torii.co.jp/release/2018/20180510_2.pdf

(『通年性アレルギー性鼻炎・花粉症 全国意識・実態調査』参考資料)

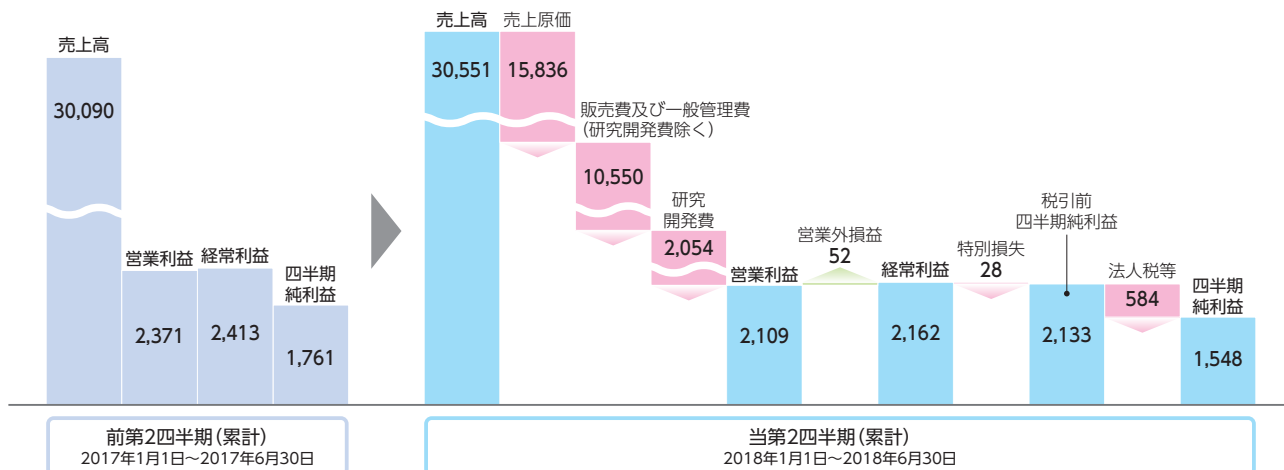
財務諸表の概要

▶▶▶ 詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。

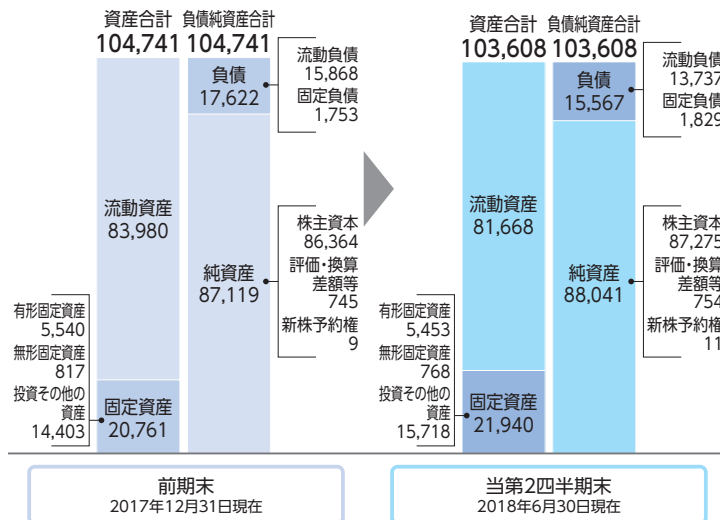
鳥居薬品 IR

検索

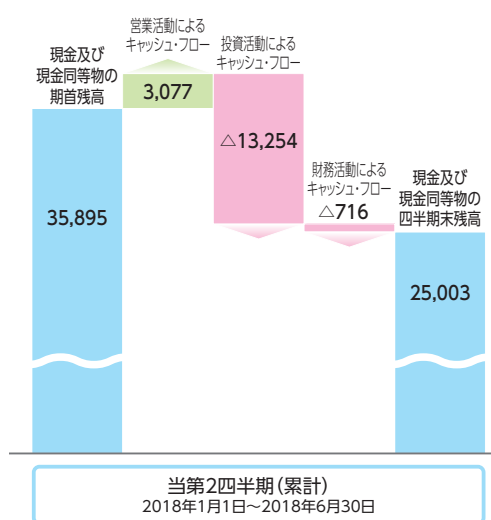
損益計算書の概要 (単位: 百万円)



貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



株式の状況

(2018年6月30日現在)

株式数

発行可能株式総数	54,000,000株
発行済株式総数	28,800,000株

株主数

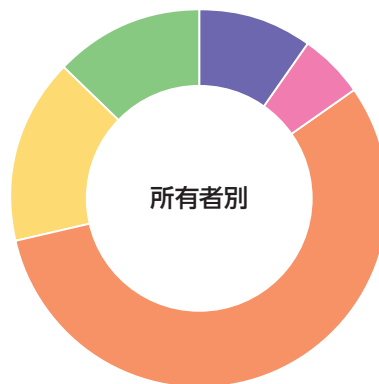
株主数 (単元未満株主を含む)	4,741名
-----------------	--------

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本たばこ産業株式会社	15,398.8	53.46
立花証券株式会社	1,330.8	4.62
イーシーエム エムエフ	997.1	3.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	554.6	1.92
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505223	485.0	1.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	378.2	1.31
株式会社三井住友銀行	340.8	1.18
鳥居薬品従業員持株会	324.3	1.12
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505103	253.0	0.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	240.8	0.83

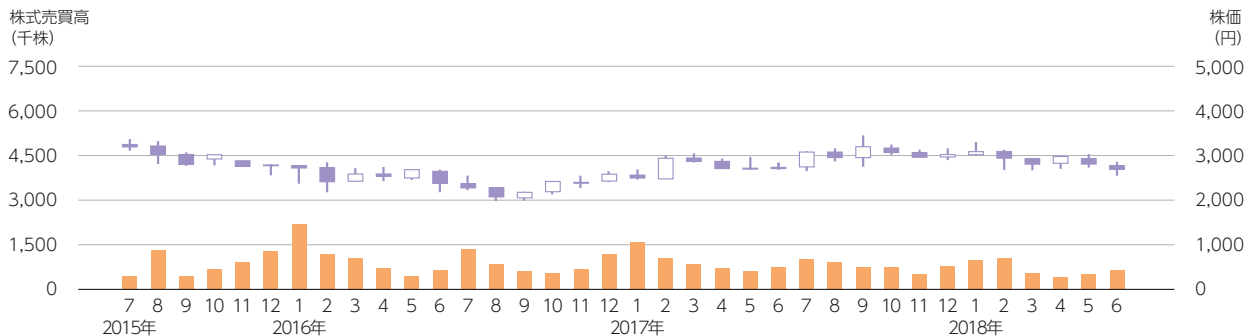
(注)上記の他、当社が保有する自己株式数は738.6千株(持株比率2.56%)です。

株式分布状況



●金融機関	31名	2,871.3千株	9.97%
●金融商品取引業者	29名	1,565.0千株	5.44%
●その他の法人	104名	16,125.8千株	55.99%
●外国法人等	156名	4,577.0千株	15.89%
●個人・その他	4,421名	3,660.7千株	12.71%

株価及び株式売買高の推移 (2015年7月~2018年6月)



会社の概要

(2018年6月30日現在)

会社概要

商号	鳥居薬品株式会社
設立	1921年(大正10年)11月1日
資本金	5,190百万円
主要な事業内容	医薬品の製造・販売
従業員数	1,078名 (注)従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人数です。
本社	〒103-8439 東京都中央区日本橋本町3-4-1 トリイ日本橋ビル TEL:03-3231-6811(代表)
主な事業所	札幌支店、仙台支店、北関東支店(高崎)、 南関東支店(さいたま)、東京支店、横浜支店、 名古屋支店、京都支店、大阪支店、神戸支店、 高松支店、広島支店、福岡支店、 南九州支店(熊本)、佐倉工場、 研究所(佐倉工場内)

役員

取締役・監査役

代表取締役社長	高木 正一郎	取締役	松田 剛一
常務取締役	田村 明彦	社外取締役	鳥養 雅夫
常務取締役	梅田 高弘	社外取締役	福岡 敏夫
取締役	假屋 ゆう子	常勤監査役	古谷 幸友
取締役	角南 正記	常勤監査役	八ツ本 泰之
取締役	掛江 敦之	社外監査役	出雲 栄一
取締役	藤原 勝彦	社外監査役	松村 卓治

執行役員

執行役員	野田 優	執行役員	渋田 昌幸
執行役員	森崎 信也	執行役員	山本 賢
執行役員	斉藤 哲也		

(注) 社外取締役 鳥養 雅夫及び福岡 敏夫、社外監査役 出雲 栄一及び松村 卓治は、東京証券取引所の規則に定める独立役員として同取引所に届け出ております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年12月31日 中間配当：毎年6月30日
公告方法	日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL：0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

住所変更、单元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトの「株主・投資家の皆さま」では、決算短信等のIR情報をご覧いただけます。

<https://www.torii.co.jp/ir/index.html>

TOPページ



鳥居薬品

検索

IRページ



将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。



鳥居薬品株式会社

〒103-8439 東京都中央区日本橋本町3-4-1 トリイ日本橋ビル
TEL 03-3231-6811 (代表)

